

平成30年 7月26日（木曜日）

少年サポートセンターで 「性被害防止のための講演会・護身術教室」を開催しました！

少年の居場所づくり実行委員会は、7月26日（木）、北海道警察本部少年課少年サポートセンターにおいて「性被害防止のための講演会・護身術教室」を開催し、サイバー補導した少年等6人が参加しました。

講演会は、医療法人明日華会 札幌マタニティ・ウイメンズホスピタルの助産師保田水子さんを講師として「生命の尊さ・10代の性とからだ」をテーマに、代表的な性感染症について学んだほか、実際に病院で出会った患者の事例をもとに、性感染症の恐ろしさ、望まない妊娠や新しい命の尊さについて学びました。保田助産師から「自分の心と身体を大切にしてほしい」と言葉をいただき、少年らは真剣に話を聞いていました。

また、護身術教室は、北海道警察護身術訓練指導者（ASEDEL）チームのインストラクターを講師に、学生ボランティアJumpersの協力を得て、少年と職員やJumpersとで2人1組のペアを作り、様々な状況を想定して、暴力から身を守る実践的な護身術の指導を受けました。すぐに実践できる技を数多く学び、ペア同士でそれぞれの技のコツや難しさを話し合い、少年らも笑顔で取り組んでいました。

終了後、少年からは「性について知らないことがたくさんあった」「自分を大切にしようと思った」「護身術がためになった。次回も参加したい」などの感想が寄せられました。

今回は、初めての開催でしたが、今後もサイバー補導した少年等を対象に、性被害防止のための講演会を継続して開催していきたいと考えています。



講演会の様子



護身術教室の様子